

春のおみがき

新年度の最初の行事としては、4月5日に中宗会前の「おみがき」を行いました。

本堂と中宗堂の仏具を綺麗にさせていただきました。

参加していただいた皆様、ありがとうございました。

普段、何気なく目にするお内陣のお荘厳ですが、

この「おみがき」あつての美しいお荘厳です。

特に参加していただいた皆様には、おみがきをする前と後とでは輝きの違いがよくわかるものと思います。次回は報恩講前にもおみがきを予定しておりますので、是非ともご協力をお願い致します。



本堂でおみがき

花まつり

4月6日（日）にはお釈迦様の誕生日を祝う「花まつり」を行いました。

花まつりは「^{かんぶつえ}灌仏会」ともいってお釈迦様の誕生仏に甘茶をかける行事です。本来は4月8日が誕生の日とされていますが、山科別院では日曜日に合わせて6日に行われました。

今年はしばらく中止されていた、白象ひきを数年ぶりに行いました。ボーイスカウトを中心に外環状線の大通りを三条通まで、山科警察署のご協力の下、安全に白象の巡行を終えることが出来ました。



白象を引いて大通りを歩きました

中宗会

4月13日～14日には「中宗会」のおつとめがありました。

中宗会は山科別院の大きな法要の1つであり、山科本願寺を創建された中興の祖、蓮如上人のご命日の法要です。山科別院では2日間にわたってこの法要を行っています。本年度も、参拝者はじめ本堂内陣には山科別院の僧侶役員や有縁の僧侶の方々にも出勤していただき、大変華やかな法要となりました。



2025 (令和7) 年 7 月 発行

京都市山科区東野狐藪町 2 番地
本願寺山科別院
TEL 075-581-0924
FAX 075-593-8822

う ら ぼ ん え
盂蘭盆会 (盆法要) のご案内

日 時 8 月 1 5 日 (金) 午後 2 時
場 所 本願寺山科別院 本堂
法話講師 和氣 秀剛 師 (奈良県五條市 圓光寺)



- ◆念珠、門徒式章（お持ちの方）をご持参ください。
- ◆事前のご連絡は不要です。お誘いあわせてどうぞご参拝ください。

お盆は、経典『仏説盂蘭盆経』に説かれた故事に由来する仏事です。
亡き方々を偲ぶとともに、浄土真宗においては大切な仏法を聴く仏縁としてお迎えいたします。

＜ 盆参りについて ＞
8 月 8 日 (金) ～ 1 5 日 (金) にかけて、ご自宅に伺います。
例年お伺いしている皆様には、参詣予定表を同封していますのでご確認ください。
経本をご準備いただき、一緒におつとめいたしましょう。

＜ 墓前読経について ＞
8 月 1 5 日 (金) 午前 9 時から正午まで 別院墓地での墓前読経を行ないます。
当日、墓地内にて受付いたします。（事前予約は受付していません）
なお、荒天の際は休止させていただく場合があります。予めご了承ください。

＜ 本堂での盆参りについて ＞
下記期日において、ご家族ごとに本堂での盆参りも受け付けています。
8 月 8 日 (金) ～ 8 月 1 5 日 (金)
（1 2 日、1 3 日を除く。1 5 日は午前中のみ）

- ◆ご門徒 1 家族ごとにお参りします。
- ◆まずはご連絡ください。その後、日時について調整いたします。

しゅう き ひ が ん え

秋季彼岸会のご案内

日 時 9 月 2 3 日(火) 午後 2 時

場 所 本願寺山科別院 本堂

法話講師 野瀬 善隆 師（滋賀県彦根市 清徳寺）

- ◆念珠、門徒式章（お持ちの方）をご持参ください。
- ◆事前のご連絡は不要です。お誘いあわせてどうぞご参拝ください。



彼岸は、仏さまがおられる清らかな覚りの世界である「浄土」のことです。
太陽が真西へと沈んでいくその彼方に西方浄土を想い、古くから人々は手をあわせてきました。

〈彼岸参りについて〉

毎年お参りさせていただいているおうちにはご案内を送らせていただいておりますが
新たにお参りをご希望の方にはご連絡いただければ、お参りにいかせていただきます。

なお、本年の彼岸参りは9月20日(土)～26日(金)にかけて、ご自宅に伺う予定です。

〈墓前読経について〉

お彼岸期間の中日の9／23（火）の午前中には墓前読経を受け付けております。

当日、墓地内にて受付。（事前予約は受付していません。）

なお、荒天の際は休止させていただく場合があります。予めご了承ください。

〈本堂でのお参りについて〉

お彼岸期間中、本堂でのお参りも受け付けております。

お参りは1家族ごとに受け付けております。

ご希望の方はご連絡ください。その後日時の調整をいたします。



◆本願寺第八代宗主 蓮如上人月忌法要

毎月14日 午後2時 別院中宗堂

おつとめ 引き続き法話 ※4・8・10月はございません

◆じんじょう晨朝勤行（朝のおつとめ）毎朝7時 別院本堂・中宗堂

◆平和の鐘 令和7年9月18日（木）13時15分～20分

※本願寺が千鳥ヶ淵戦没者墓苑において修行する「全戦没者追悼法要」に合わせ、恒久平和への願いを新たにするため「平和の鐘」を撞きます。

輪番のひとこと

「命日」という言葉があります。命日とは、故人が亡くなられた日のことです。しかし、亡くなられた日であるのに、何故、その日のことを命日とよぶのでしょうか。それは、人間としてのこの世での命を終えた日が、同時に、阿弥陀様のお力でお浄土に往かせていただき、この私が仏様としての命を賜る日だからです。命日は、仏様としての誕生日ともいえます。ですから、ご縁のある方々の命日には、生前のその方のことを偲ぶとともに、今、故人が仏様として私に関わり、導いてくださっていることに感謝するのが大切といえます。そして、命日を通して、阿弥陀様のみ教えを聞き、共に命の本来のありようについて味わいを深めさせていただきたいことと思います。

ご報告

永代経法要

6月28日（土）に「永代経法要」並びに「総永代経法要」をおつとめしました。

午前10時から山科別院に過去8年間に「永代経懇志」を納めていただいている方

を対象として「永代経法要」を行いました。故人のお名前の読み上げと共にご参拝の皆様には焼香をしていただき、今を生きる私たちがみ教えに出遇えたよろこびと、次代の方々がみ教えに出遇ってくださることを願いつつ、おつとめさせていただきました。

午後2時から、別院ご門徒をはじめご縁ある皆様

を対象とした「総永代経法要」をおつとめしました。

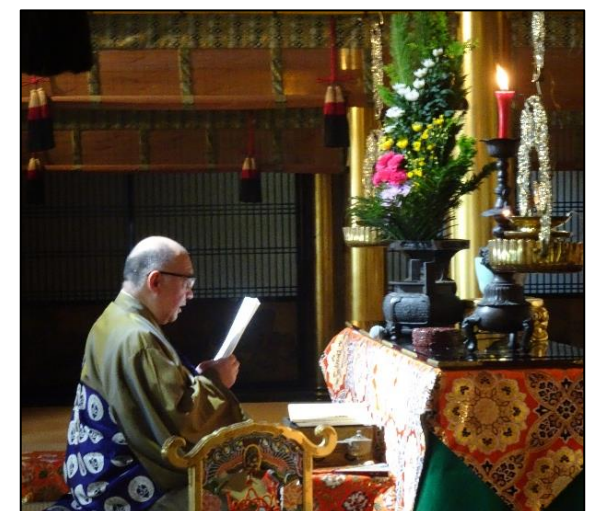
松林雅楽会による雅楽が奏でられる中、ご参拝の皆様

と一緒に仏説阿弥陀経を読経し、引き続き滋賀県彦

根市・光厳寺の北浦思朗師よりご法話をいただきました。

梅雨があけて暑い日でしたが、遠近各地よりお参

りいただき有り難うございました。



門野輪番がお導師をされました